

株式会社ティーケーピー

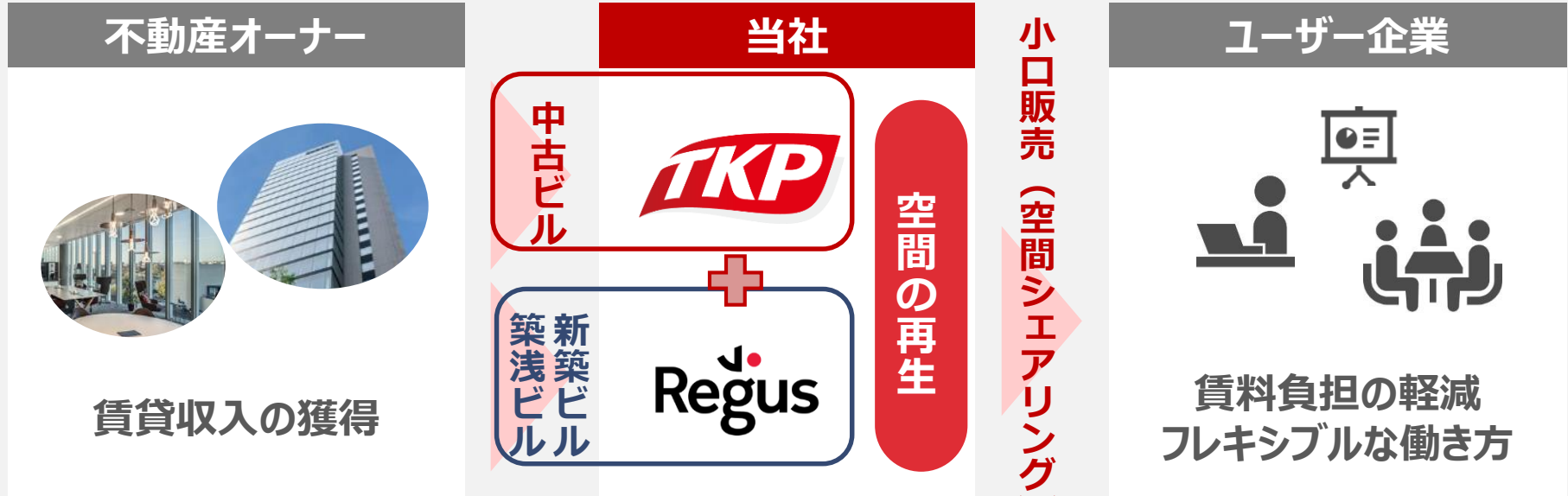


2020年2月期 第3四半期
決算説明資料

はじめに	2
トピックス	6
2020年2月期 第3四半期 決算概要	11
事業概要	19
成長戦略・中期経営計画	33
Appendix	40

はじめに

不動産市況を見ながら、TKPは大型の中古ビル、リージャスは新築および築浅ビルを中心とする出店戦略。
リージャス出店時、その一部を最初はTKP会議室として出店することで拠点黒字化を早められる



顧客ニーズを捉え
多様なサービスを提供

- 会議室 (Meeting room)
- 宿泊 (Accommodation)
- イベント (Event)
- レンタルオフィス (Rental office)
- BPO (Business Process Outsourcing)
- 料飲 (Food and beverage)

今期はタイトな不動産市況を踏まえ、TKP貸会議室は出店を抑制している。
一方、高単価のリージャスは積極的に出店を行っている



TKPガーデンシティPREMIUM
天神スカイホール
(2019.9～)



TKP品川グランドセントラルタワー
カンファレンスセンター
(2019.10～)



TKPスター貸会議室立川
(2019.11～)



TKP新橋会議室
(2019.10～)



TKPスター貸会議室水道橋
(2019.11～)



【増床】TKP虎ノ門駅前
カンファレンスセンター
(2019.11～)

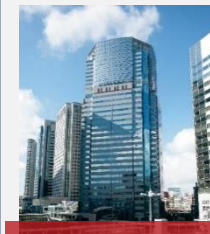
共同出店



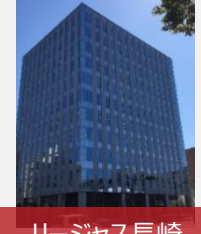
TKP松山市駅前カンファレンスセンター
リージャス松山市駅前センター
(2019.11～)
※リージャスは2020.1～



TKP姫路会議室
リージャス姫路駅前センター
(2019.10～)



SPACES品川
(2019.11～)



リージャス長崎
BizPORTセンター
(2019.10～)



リージャス岡山
アクロスセンター
(2019.11～)



リージャス
八戸センター
(2019.11～)



リージャス秋田
駅前センター
(2019.11～)



オープンオフィス
大阪肥後橋
(2019.11～)



リージャス大宮
ウエストセンター
(2019.10～)



2020年2月期の出店実績および出店計画（2020年1月時点）

TKPの会議室は前期と比較して、今期は出店が抑制され出店拠点数、坪数共に減少する見込み。



2019年2月期出店実績

44拠点 約17,000坪

今期出店見込 (2020年1月時点)

23拠点 約10,500坪

9拠点 3,391坪	4拠点 2,194坪 ※増床分1,678坪含む	7拠点 1,623坪 ※増床分44坪含む	3拠点 3,298坪 ※増床分2,406坪含む
---------------	-------------------------------	----------------------------	-------------------------------



	3拠点 972坪	8拠点 (大規模拠点SPACES 1 拠点を含む) 2,571坪	3拠点 762坪
--	-------------	--	-------------



今期出店見込 (2020年1月時点)

14拠点 約4,300坪

2019年8月発表の中期経営計画における日本リージャスの今期出店計画は約3,700坪としていたが、4,300坪程度に上振れる見込みである。また四半期ごとに一定ペースでの出店を計画していたが、実際には第3四半期に出店が偏り、費用が大きく膨らんだ。



トピックス

第3四半期までの主なトピックス

上期トピックス

- | | |
|-------|---------------------------------------|
| 4月15日 | 日本リージャス買収を公表 |
| 5月31日 | 日本リージャス子会社化完了 |
| 6月1日 | 日本リージャス連結開始 |
| 6月26日 | 中期経営計画の策定および今期業績予想の修正を公表 |
| 7月1日 | 品川配ぜん人紹介所子会社化完了 |
| 8月9日 | 台湾リージャス社※買収を公表 ※台湾においてリージャス事業を運営する13社 |
| 8月16日 | 新中期経営計画および今期業績予想の再修正を公表 |

第3四半期トピックス

- | | |
|-------|---|
| 9月1日 | 品川配ぜん人紹介所の連結開始 |
| 9月18日 | 新株式発行・株式売出しを公表 |
| 9月30日 | 発行価格・売価決定、台湾リージャス社子会社化完了 |
| 10月8日 | 第25回「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」において、新興市場銘柄部門で第2位を受賞 |

<ご参考> 第4四半期トピックス

- | | |
|-------|----------------|
| 12月1日 | 台湾リージャス社連結開始予定 |
|-------|----------------|

品川配せん人紹介所は一流ホテルとも多数取引実績のある大手人材派遣会社

会社概要

名称	有限会社品川配せん人紹介所
設立日	1970年7月16日
事業の内容	配せん人の紹介、配せん人の派遣
登録者数	約5,500名（2020年1月時点）
売上高	937百万円（2019年6月期）
主要取引先	パレスホテル東京 グランドハイアット東京 アンダース東京 東京會館 ホテルグランドヒル市ヶ谷 東京ドームホテル



PALACE HOTEL TOKYO



TOKYO KAIKAN



TOKYO DOME
HOTEL

新株式発行および株式売出しの実施

2019年9月18日に公募増資を公表、9月30日条件決定

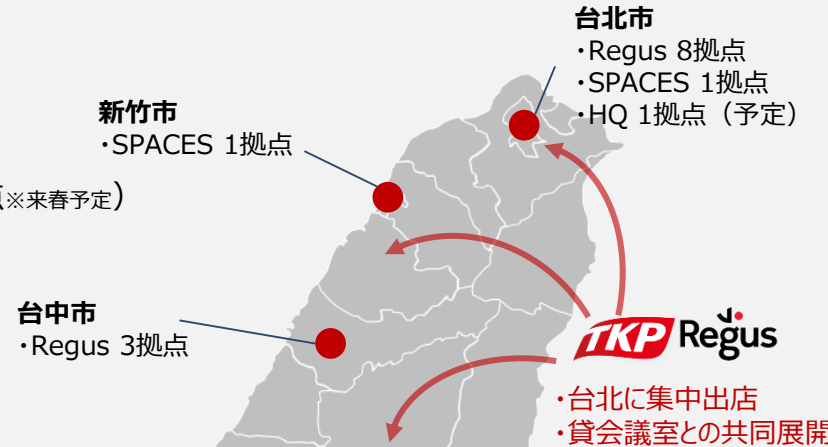


今回の一般募集および第三者割当に係る調達資金のうち、約131億円を2019年12月に当社子会社TKPSPV-9号に融資し、優先株の買戻しに充当済。優先株式に係る優先配当の支払いによる金融コストの削減を実現。優先株買戻し後の自己資本比率は約30%となる見込み。

台湾リージャス社※を子会社化

2019年9月30日に子会社化が完了し、第4四半期期初（12月1日）より連結開始。
当初、10月1日より連結開始予定していたが、経理統合処理に合わせ12月1日開始となった

- 事業内容： レンタルオフィス・コワーキングスペース・貸会議室
- 展開ブランド： 「Regus」「SPACES」「HQ」
- 拠点数： 14拠点（Regus 11拠点、SPACES 2拠点、HQ1拠点※来春予定）
- 売上高： 9.51億円※（2018年12月期）
- 営業利益： 1.72億円※（2018年12月期）
- 総資産： 13.76億円※（2018年12月期）



Regus HQ SPACES.



取得価額
18百万英ポンド
(24.1億円)

(3年後)
売上 約**23**億円
EBITDA 約**6**億円
(6年後)
50拠点

※台湾においてリージャス事業を運営する13社を総称して、「台湾リージャス社」とします

※台湾ドル建てにて開示された財務数値（IFRS）を基に、2019年6月28日付の台湾ドル・日本円の為替レートである1台湾ドル=3.48円で算出しております

※財務数値は、監査法人の監査を受けたものではありません

2020年2月期 第3四半期 決算概要



2019年12月OPEN TKPガーデンシティPREMIUM
丸の内パシフィックセンチュリープレイス

2020年2月期第3四半期累計連結業績

日本リージャス連結（2Q～連結開始）の影響により、売上高・売上総利益が大きく伸長し、特に最重要指標としているEBITDAはTKP本体※の業績の向上も相まって+77.3%。

一方で日本リージャス買収に伴うのれん償却費が発生したことにより、営業利益率は低下。営業外費用として、リージャス買収に伴うMA費用及びファイナンス費用が大きく発生し、経常利益を圧迫

(億円)	2019.2期 3Q(累計)	2020.2期 3Q(累計)	前年同期比	
売上高	266.62	396.74	+48.8%	今期3Qのみの特殊要因は色付けしております。
売上総利益	104.12 (39.1%)	152.93 (38.5%)	+46.9%	
販管費	69.18 (25.9%)	103.33 (26.0%)	+49.4%	<販管費の増加主要因> 買収に伴うのれん償却費△11.0億円(2Q/3Q) 日本リージャス統合一時費用等△約4億円(3Q) 公募増資に伴う登録免許税等△0.8億円(3Q)
EBITDA※	41.04 (15.4%)	72.76 (18.3%)	+77.3%	
営業利益	34.93 (13.1%)	49.59 (12.5%)	+42.0%	のれん償却費が大きく増加したにも関わらず TKP本体の利益率が上昇したため、 販管費は26%水準をキープ
経常利益	32.95 (12.4%)	33.79 (8.5%)	+2.6%	
四半期純利益※	10.95 (4.1%)	12.87 (3.2%)	+17.6%	<営業外項目の変動主要因> 銀行へのアレンジメントフィー△5.0億円(1Q) 為替差損の発生△1.8億円(2Q) MA手数料△4.0億円(1Q:△3.0億円/3Q:△0.9億円) 支払利息の増加△1.6億円(ブリッジローン)(2Q/3Q) 公募増資に伴う支払手数料△0.5億円(3Q)
				<特別項目の変動主要因> 大塚家具株式減損 △2.0億円(2Q) 優先配当の支払い △1.5億円(3Q) ジェイック株式売却益 +3.9億円(3Q)

※TKP本体とは、TKP単体に今期に連結子会社化した2社（日本リージャス品川・配せん人紹介所）を除く子会社17社を合計したものとします。

※EBITDAは、営業利益に減価償却費およびのれん償却費を加えて算出しています。

※四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を示しています。

2020年2月期第3四半期累計連結業績（買収企業の影響を分離）

TKP本体は上位グレードの成長が牽引役となり、
売上総利益率、EBITDAマージン、営業利益率が大きく上昇している

(億円)	①2019.2期 3Q(累計) TKP本体	②2020.2期 3Q(累計) TKP本体	前年同期比 (①と②比較)	③2020.2期 3Q(累計) 日本リージャス	④2020.2期 3Q(累計) 品川配せん人紹介所
売上高	266.62	309.21	+16.0%	84.71	2.81
売上総利益	104.12 (39.1%)	124.75 (40.3%)	+19.8%	27.50 (32.5%)	0.67 (24.1%)
販管費	69.18 (25.9%)	77.81 (25.2%)	+12.5%	25.03 (29.6%)	0.47 (17.0%)
EBITDA	41.04 (15.4%)	56.65 (18.3%)	+38.0%	15.82 (18.7%)	0.28 (10.0%)
営業利益	34.93 (13.1%)	46.93 (15.2%)	+34.4%	2.46※ (2.9%)	0.19※ (7.0%)

※日本リージャスおよび品川配せん人紹介所の営業利益はのれん償却後です。

2020年2月期第3四半期（9-11月期）連結業績

3Q会計期間の比較においても、日本リージャス連結により売上高・EBITDAは大きく伸長。
各利益も前年との比較において増加しているものの、
日本リージャスが3Q会計期間において約1.7億円の赤字となったため、各利益率は低下した

(億円)	2019.2期 3Q(会計)	2020.2期 3Q(会計)	前年同期比	
売上高	90.51	154.01	+70.2%	今期3Qのみの特殊要因は色付けしております。
売上総利益	32.51 (35.9%)	53.80 (34.9%)	+65.5%	
販管費	23.41 (25.9%)	39.84 (25.9%)	+70.1%	<販管費の変動主要因> 買収に伴うのれん償却費△5.5億円 日本リージャス統合一時費用等△約4億円 公募増資に伴う登録免許税等△0.8億円
EBITDA	11.49 (12.7%)	24.18 (15.7%)	+110.4%	<営業外項目の変動主要因> 支払利息の増加△0.6億円 MA手数料△0.9億円 公募増資に伴う支払手数料△0.5億円
営業利益	9.09 (10.0%)	13.95 (9.1%)	+53.4%	
経常利益	8.44 (9.3%)	11.52 (7.5%)	+36.5%	<特別項目の変動主要因> 優先配当の支払い △1.5億円 ジェイック株式売却益 +3.9億円
四半期純利益	4.98 (5.5%)	5.42 (3.5%)	+8.7%	

2020年2月期第3四半期（9-11月期）連結業績（買収企業の影響を分離）

TKP本体は3Qにおいて過去最高業績を達成。売上総利益率・EBITDAマージン・営業利益率は、上位グレードの成長が牽引役となり大きく伸長。
 一方、日本リージャスは、統合に伴う一時費用および大規模拠点（SPACES）の出店による先行費用等の特殊要因が発生したため、約1.7億円の赤字を計上

(億円)	①2019.2期 3Q(会計) TKP本体	②2020.2期 3Q(会計) TKP本体	前年同期比 (①と②比較)	③2020.2期 3Q(会計) 日本リージャス	④2020.2期 3Q(会計) 品川配せん人紹介所
	売上高	90.51		107.85	+19.2%
売上総利益	32.51 (35.9%)	42.03 (39.0%)	+29.3%	11.08 (25.6%)	0.67 (24.1%)
販管費	23.41 (25.9%)	26.58 (24.6%)	+13.5%	12.78 (29.5%)	0.47 (17.0%)
EBITDA	11.49 (12.7%)	18.86 (17.5%)	+64.2%	5.03 (11.6%)	0.28 (10.0%)
営業損益	9.09 (10.0%)	15.44 (14.3%)	+69.9%	△1.69 -	0.19 (7.0%)

増資により自己資本比率は大きく向上 財務体質は大幅に健全化

(億円)	2019.2期末	2020.2期2Q末	2020.2期3Q末	前期末比
流動資産	167.47	213.47	340.75	+173.28
（現預金）	119.67	162.71	275.60	+155.92
（売掛金）	33.55	29.95	45.06	+11.51
固定資産	343.18	897.22	996.15	+652.97
（有形固定資産）	249.59	310.28	383.90	+134.30
（無形固定資産）	2.54	429.59	452.72	+450.17
資産合計	510.66	1,110.69	1,336.91	+826.25
流動負債	92.99	481.35	487.44	+394.45
固定負債	310.03	381.64	359.11	+49.08
負債合計	403.02	862.99	846.56	+443.53
（有利子負債残高）	359.13	733.33	672.21	+313.08
純資産合計	107.63	247.69	490.35	+382.71
負債・純資産合計	510.66	1,110.69	1,336.91	+826.25

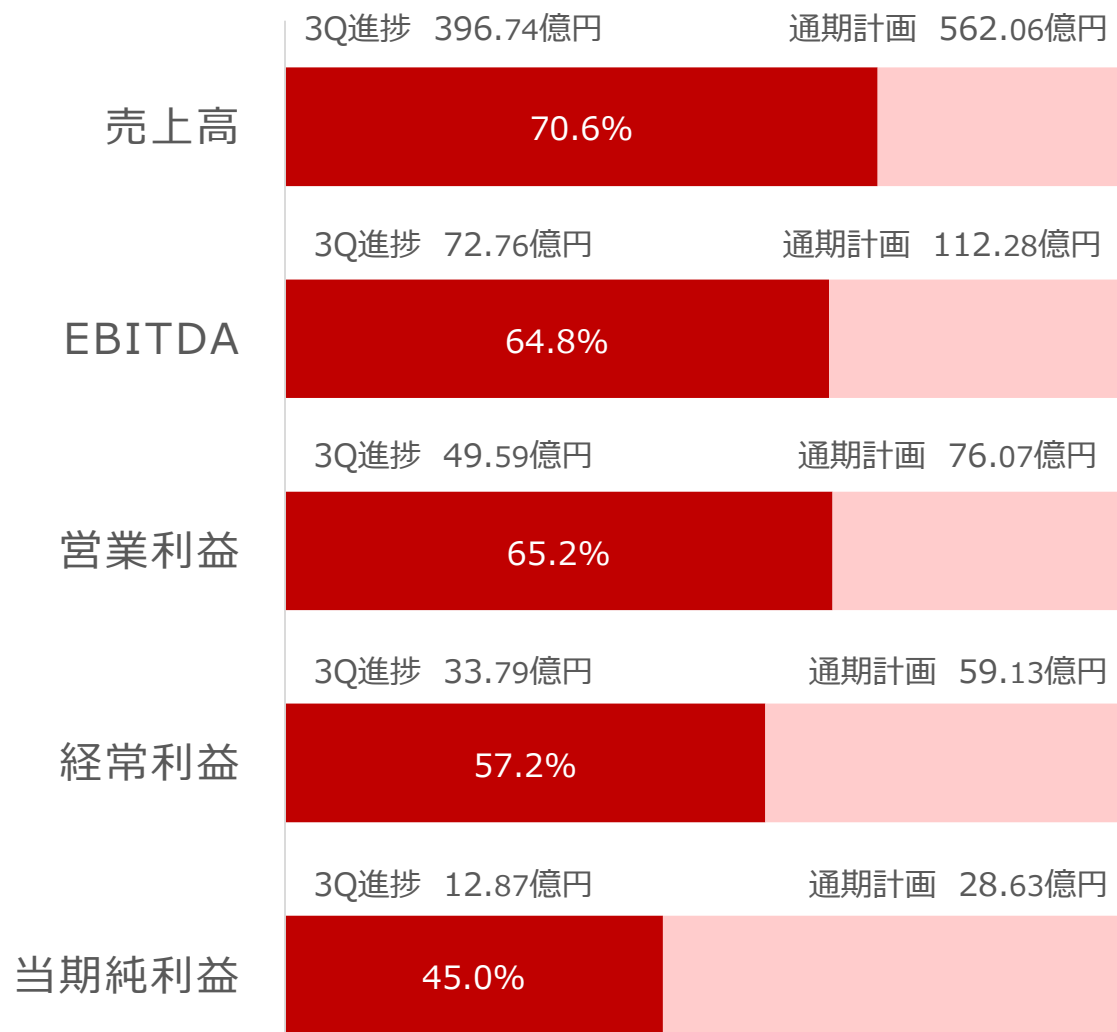
自己資本比率	21.0%	10.5%	⇒	26.8%	+5.8ポイント
--------	-------	-------	---	-------	----------

TKP本体の成長および日本リージャス（2Q～）・品川配せん人紹介所（3Q～）・台湾リージャス社（4Q～）の連結開始等により、大幅な増収増益計画。

特に最重要指標のEBITDAにおいては、前期比2倍超の成長を見込む

（億円）	2019.2期通期 （実績）	2020.2期通期 （計画） 8/16公表	前期比
売上高	355.23	562.06	+58.2%
EBITDA	51.80 (14.6%)	112.28 (20.0%)	+116.8%
営業利益	42.89 (12.1%)	76.07 (13.5%)	+77.4%
経常利益	40.53 (11.4%)	59.13 (10.5%)	+45.9%
当期純利益	18.93 (5.3%)	28.63 (5.1%)	+51.2%

2020年2月期通期計画に対する進捗状況



売上高は下期偏重の計画に対して順調な進捗。

PMI※費用が想定以上にかさんだ事に加え、公募増資などの特殊費用が3Qに計上された結果、経常利益・当期純利益は計画を下回っているものの、買収に伴う一時費用は概ね3Qまでに計上しており、4Qでの挽回を図る。

TKP本体が想定以上に好調な伸びを示しているため、現時点では通期計画を据え置きとする。

※M&A成立後の統合プロセスのこと

事業概要

フレキシブルオフィス事業を中心とした5つの事業領域から成り立つ

ホテル・
宿泊研修事業



料飲・
バンケット事業



フレキシブルオフィス事業

(貸会議室・ホテル宴会場・レンタルオフィス・コワーキングスペース)



イベント
プロデュース事業

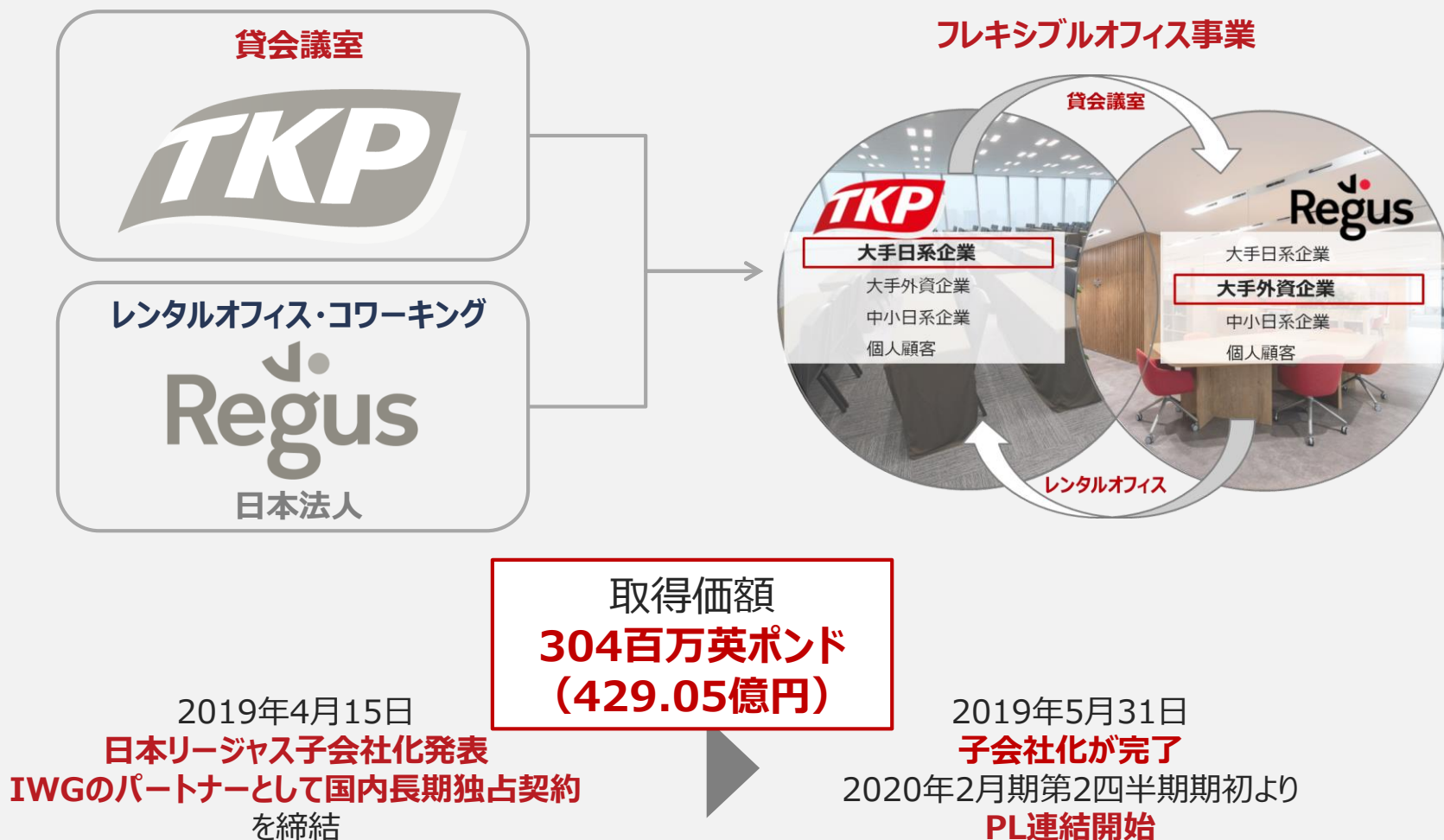


BPO事業



日本リージャスホールディングス株式会社を子会社化

2019年5月31日に子会社化が完了し、第2四半期期初（6月1日）より連結開始。
顧客基盤が異なるため(TKP：大手日系企業中心⇔日本リージャス：大手外資企業中心)
相互送客や共同出店が双方にとって大きなメリット



時間貸～短中期貸まであらゆる形でのスペースの貸し方が可能。
仕入においても新築ビル～中古ビルの大量の情報を獲得



国内における拠点ネットワークの更なる拡大。 TKPグループはフレキシブルオフィス市場の成長を牽引



2019年11月現在
52万1千㎡
(約15万7千坪)
※413拠点



2030年
140万㎡(約42万坪)
(1拠点250坪換算で約1,500拠点)

施設数



413 施設

2019年11月末時点

室数



11,451 室

2019年11月末時点

座席数



185,029 席

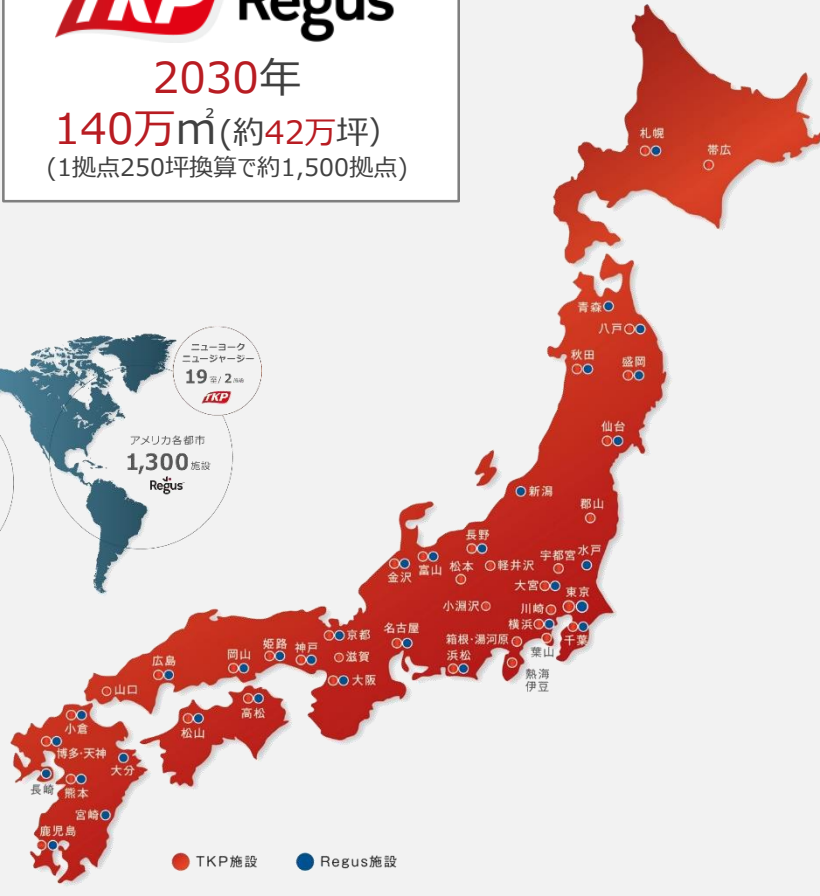
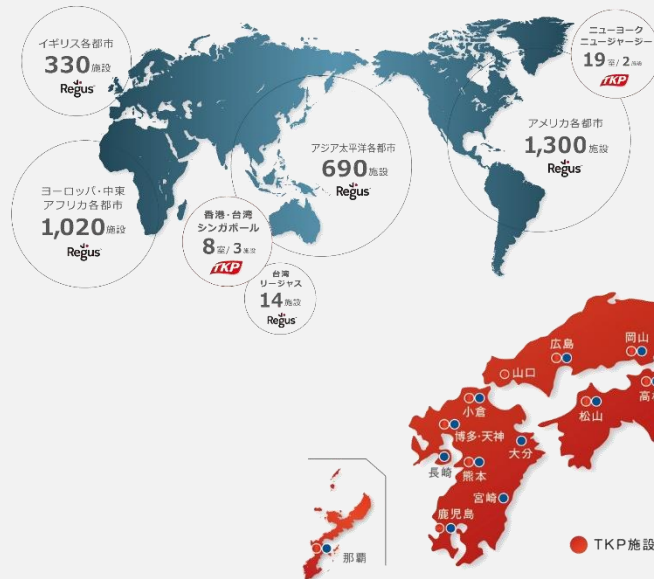
2019年11月末時点

契約面積









521,811 ㎡

2019年11月末時点



グレード別会議室数・拠点数・WS数※

(貸会議室は利用目的・規模・予算などに合わせた5つのグレードを展開するほか、研修施設でも展開)

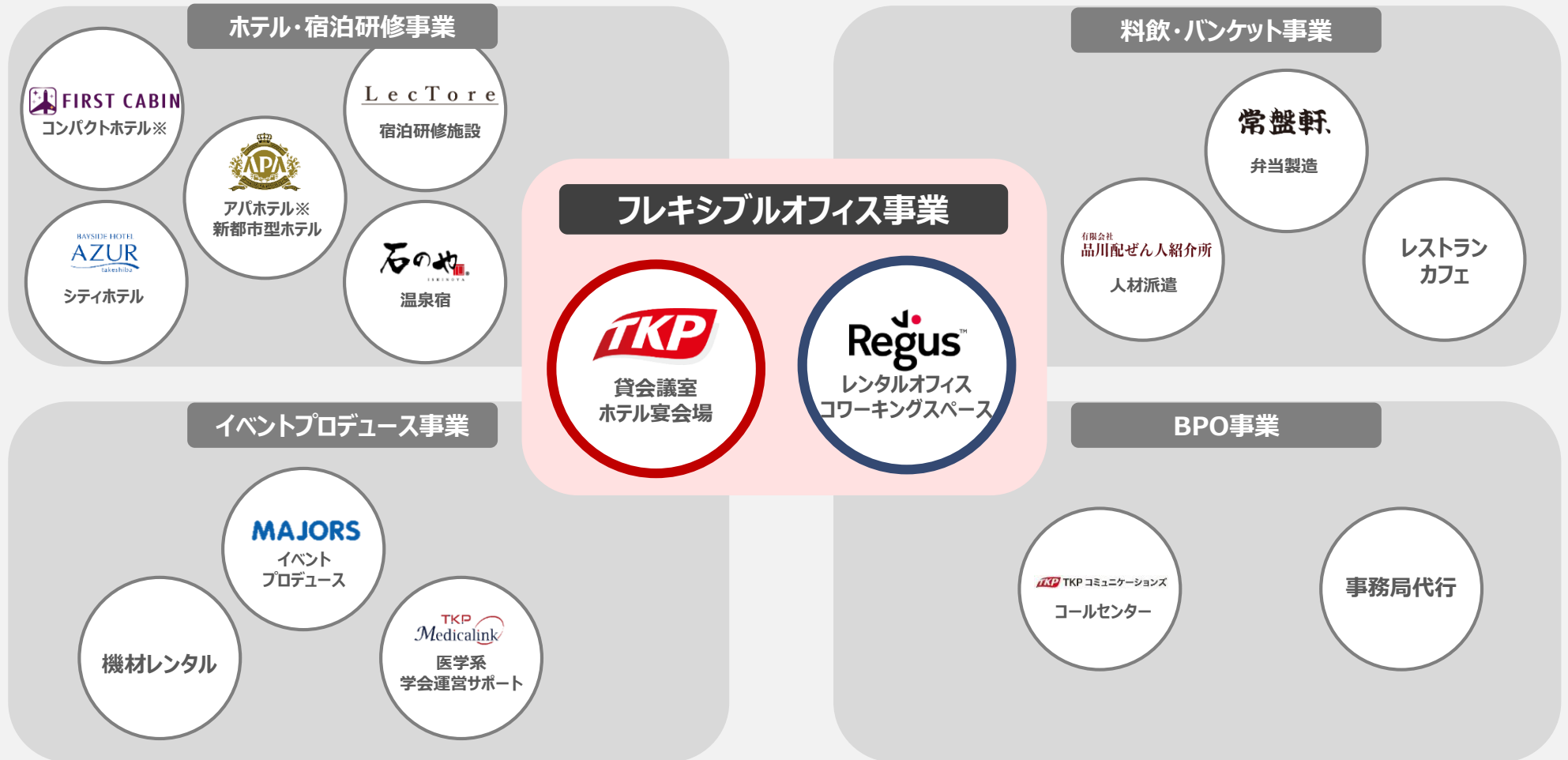
グレード		2017.2期	2018.2期	2019.2期	2020.2期3Q
	ガーデンシティ PREMIUM (GCP) 室数	113	137	223	247
	拠点数	11	13	20	23
	ガーデンシティ (GC) 室数	372	417	458	456
	拠点数	32	39	46	48
	カンファレンス センター (CC) 室数	796	881	992	979
	拠点数	67	79	87	86
	ビジネスセンター (BC) 室数	351	313	319	305
	拠点数	53	49	50	48
	スター 貸会議室 室数	91	88	93	102
	拠点数	41	38	40	44
(研修施設内)	レクtoorレ・石のや等 室数	29	22	52	69
		8	7	10	12
	TKP合計 室数	<u>1,752</u>	<u>1,858</u>	<u>2,137</u>	<u>2,158</u>
	拠点数	<u>212</u>	<u>225</u>	<u>253</u>	<u>261</u>
	坪数	<u>84,013</u>	<u>102,696</u>	<u>114,790</u>	<u>121,630</u>
	WS数	-	-	-	23,087
	日本リージャス 拠点数	-	-	-	<u>152</u>
	坪数	-	-	-	36,217

※WS (ワークステーション) : リージャス施設内の席数

2019年11月末時点

当社の事業相関図

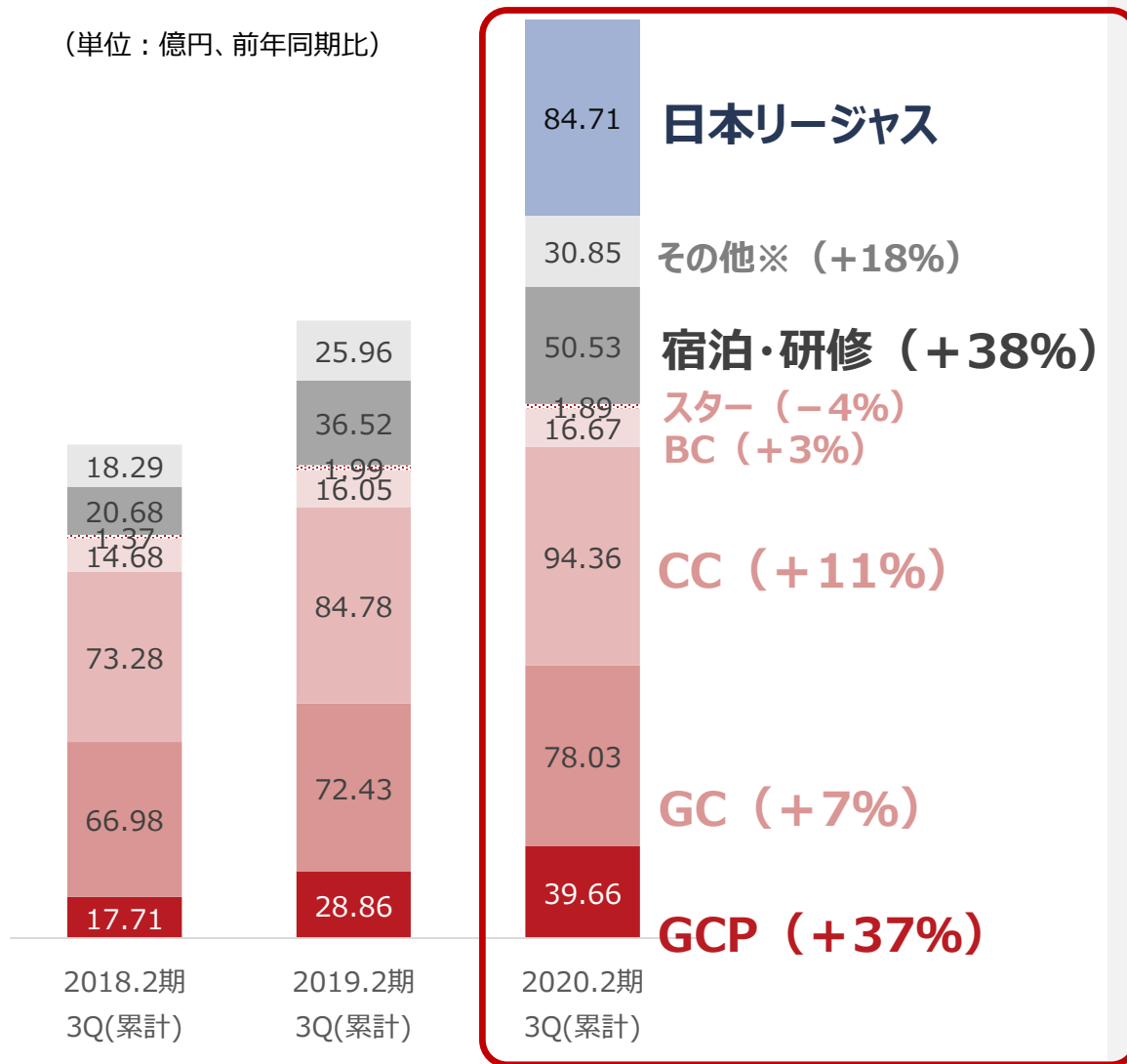
当社はフレキシブルオフィス事業を基幹事業として、周辺サービスも展開。
単なるサブリースではなく、法人顧客の需要に応じて事業ドメインを拡大することで差別化を図る



※フランチャイズによる運営

グレード別の売上高推移

(単位：億円、前年同期比)



**上位グレード・
宿泊・研修が
成長をけん引**

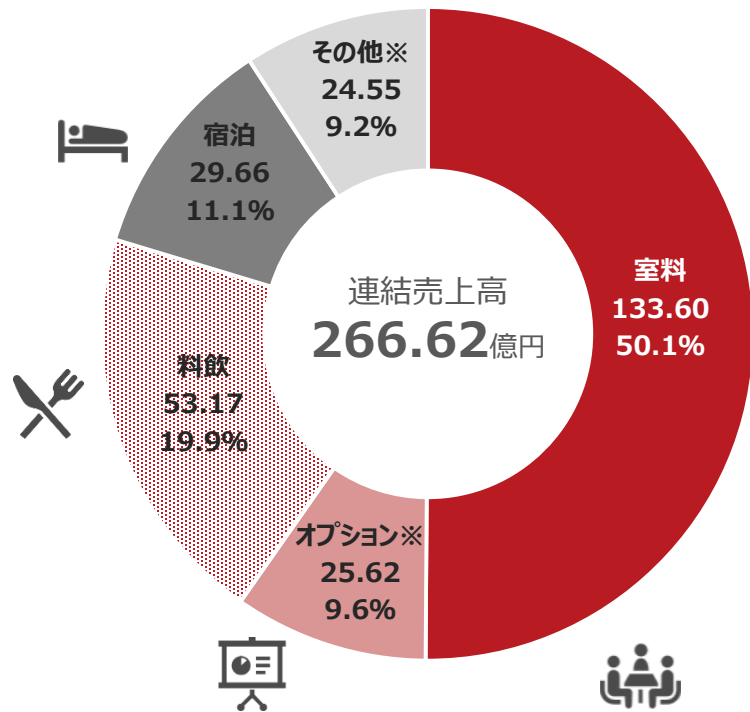
※ GCP:ガーデンシティPREMIUM、GC:ガーデンシティ、CC:カンファレンスセンター、BC:ビジネスセンター、スター:スター貸会議室
 ※ グレード別売上における「その他」は主にレストラン売上および当社施設以外を利用した案件での売上を指す

サービス別の売上高構成比

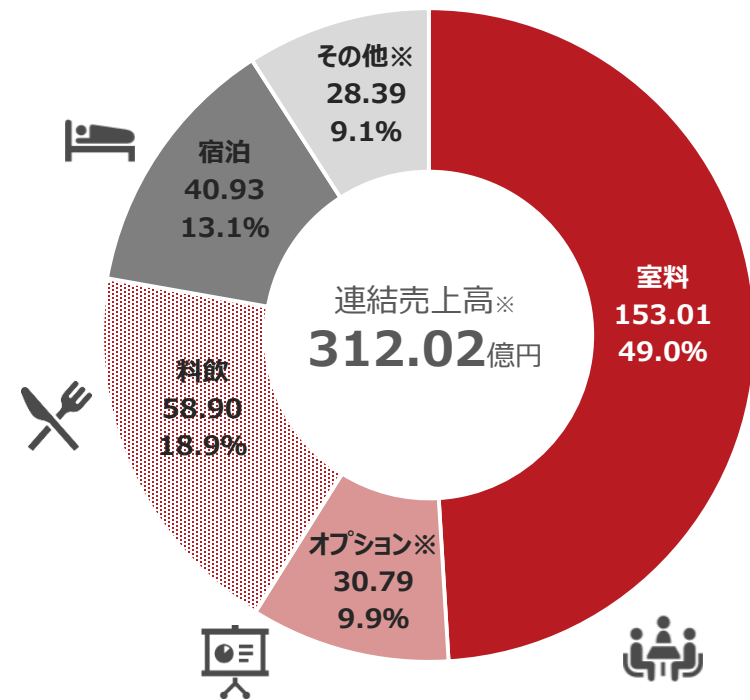
TKP本体における**周辺サービス**（室料以外の付加部分）の構成比が拡大

(単位：億円、構成比)

2019.2期第3四半期（累計）



2020.2期第3四半期（累計）



※サービス別売上における「オプション」は主に会議室で利用する機材等の売上を指す

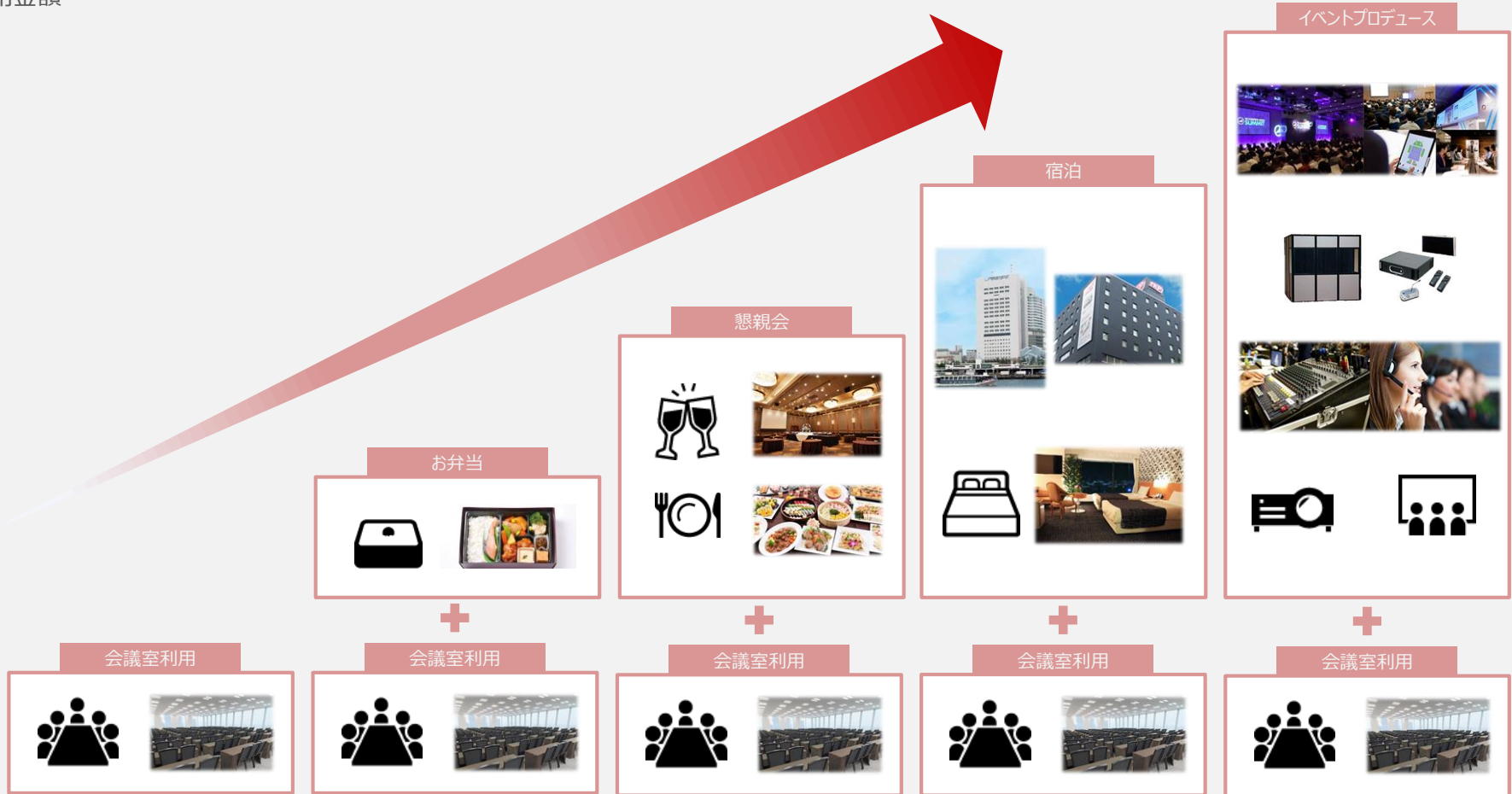
※サービス別売上における「その他」は当社施設以外の宿泊売上、サービス料、各拠点に設置している自動販売機の売上等を指す

貸会議室のビジネスモデル

当社の貸会議室事業は単にスペースをサブリースするだけでなく、料飲や宿泊などの
周辺サービスを付加することで大幅に売上が拡大するサービス事業である。

貸会議室はオープンより平均して3か月で損益分岐点に達し、12ヶ月で巡航速度へ

利用金額



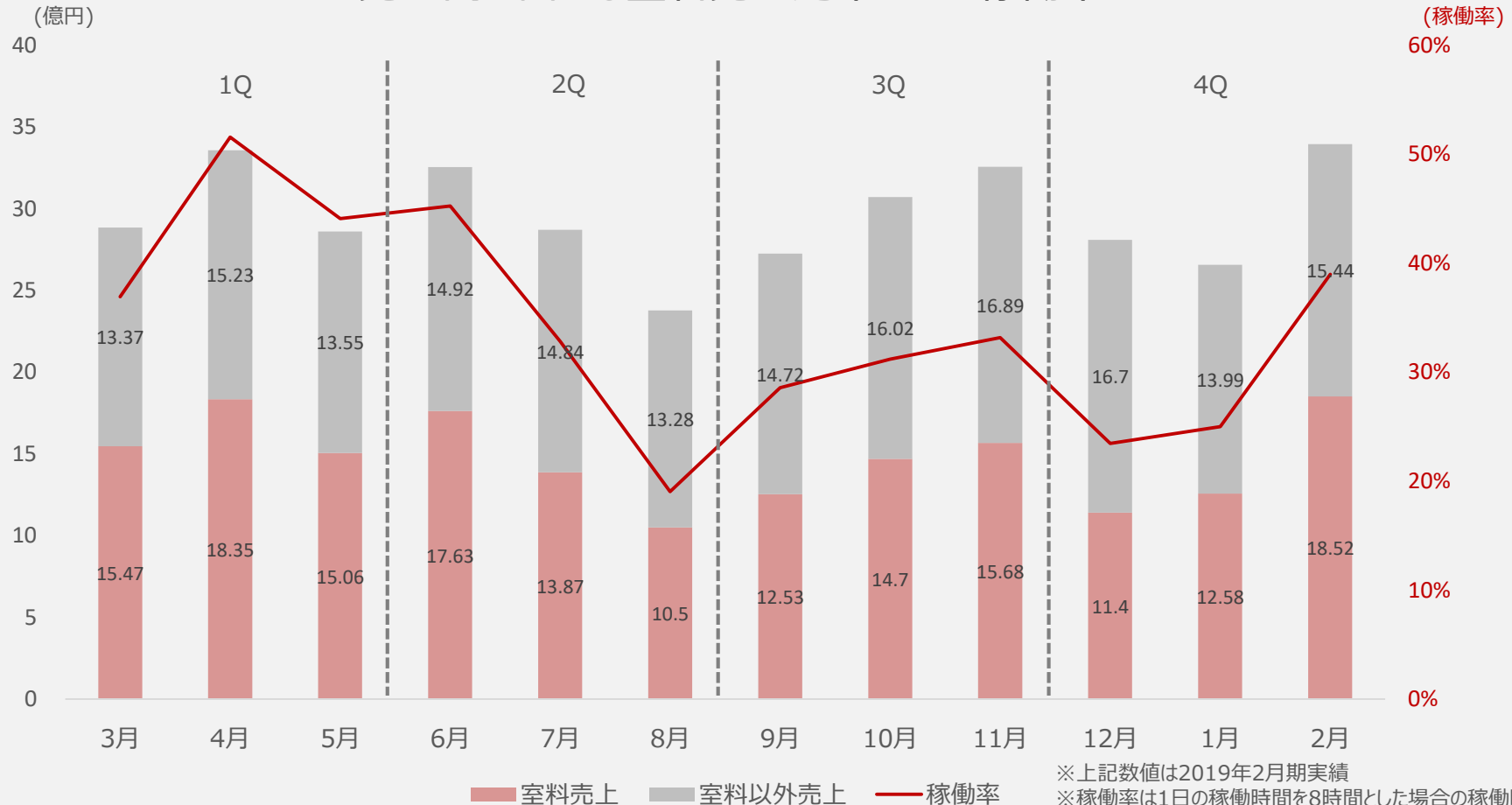
貸会議室のビジネスモデル

入学試験や採用・研修の需要が多い2月～6月は、売上に対して室料の比率が高い。

一方、7月～1月は売上に対して料飲などの付加サービスの比率が高い。

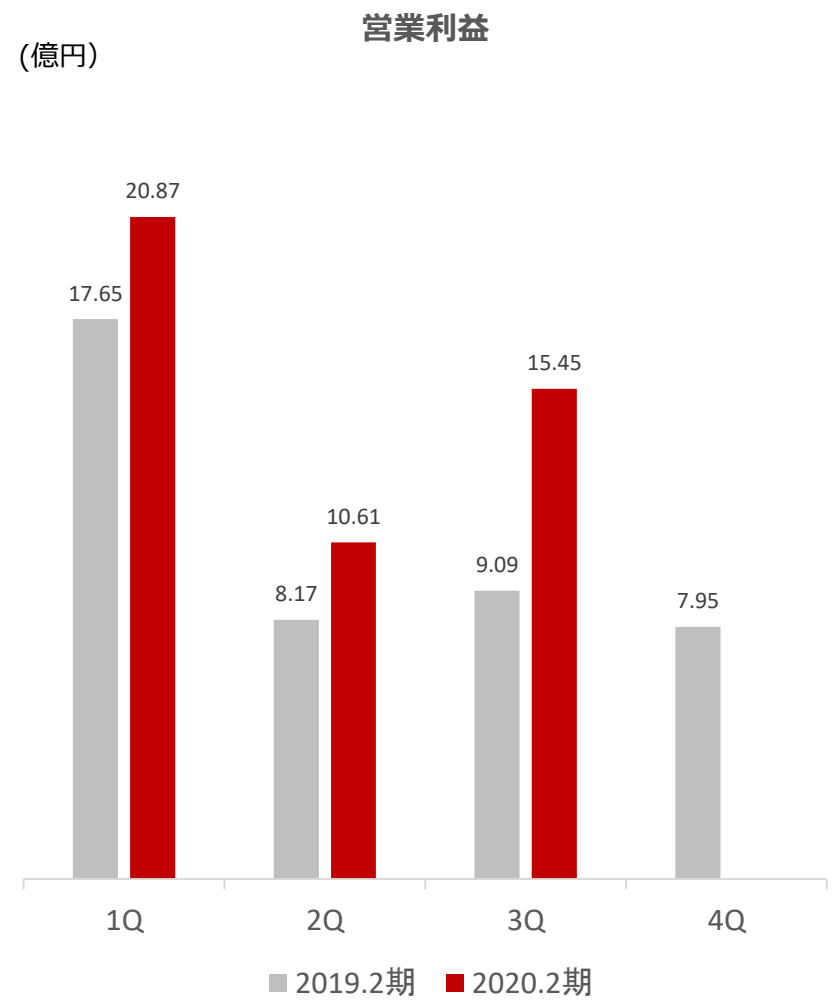
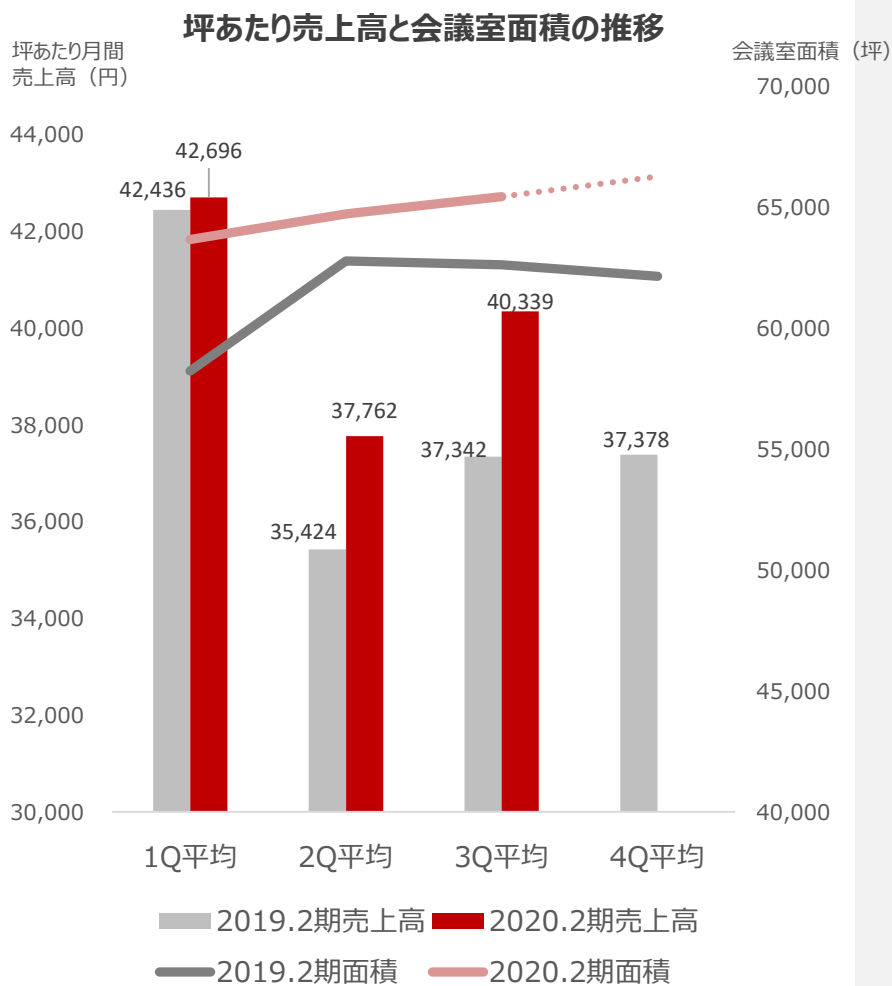
稼働率と売上高とが完全には相関しないため、**貸会議室事業においては稼働率を重視していない**

売上高に占める室料売上比率および稼働率



※上記数値は2019年2月期実績
 ※稼働率は1日の稼働時間を8時間とした場合の稼働時間より算出
 ※稼働率は当社自社所有物件・自社賃借物件を対象として算出

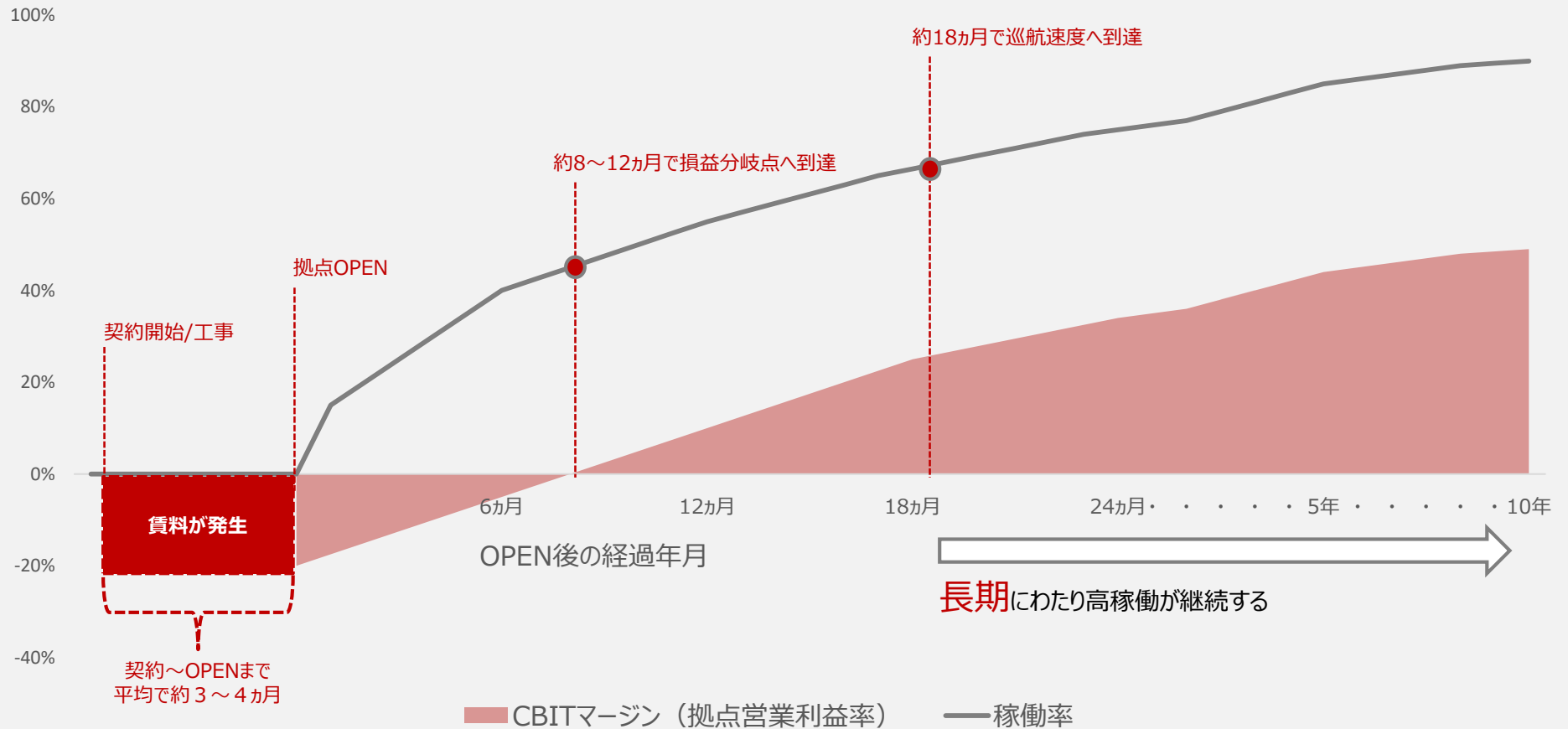
貸会議室のKPIである坪あたり売上高は各四半期とも増加傾向にある。
2Qと3Qは室料以外の売上比率が高く、坪あたり売上高の増加が顕著である。
坪あたり売上高と営業利益は相関関係にある



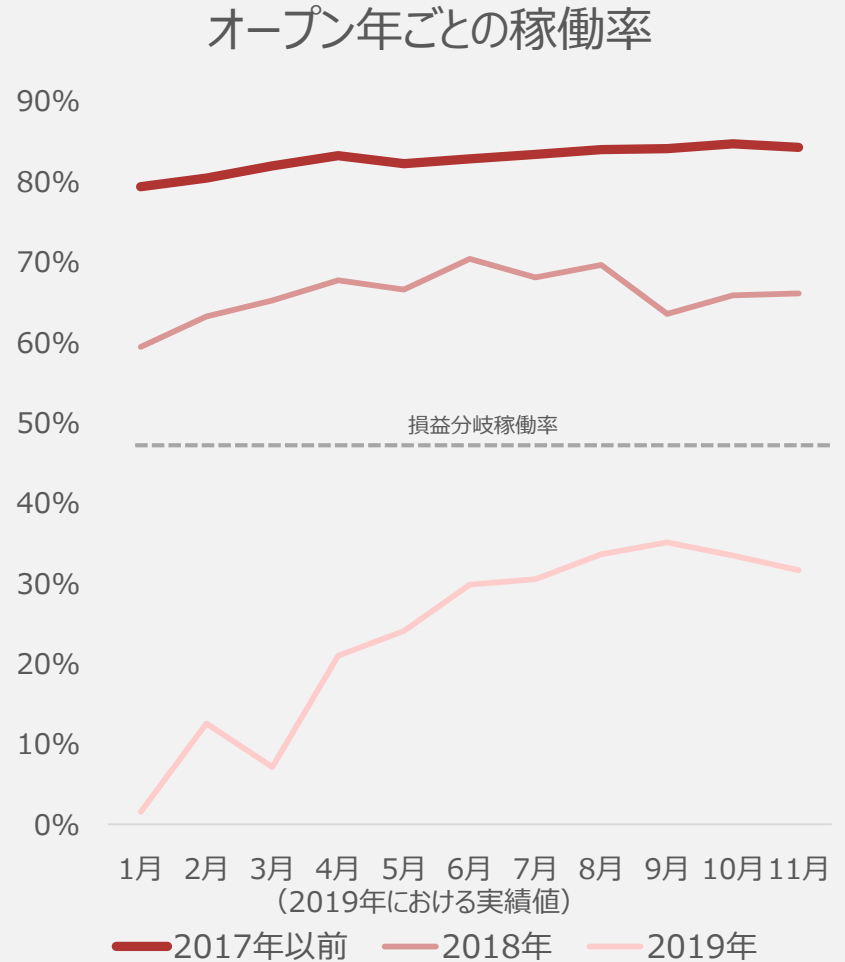
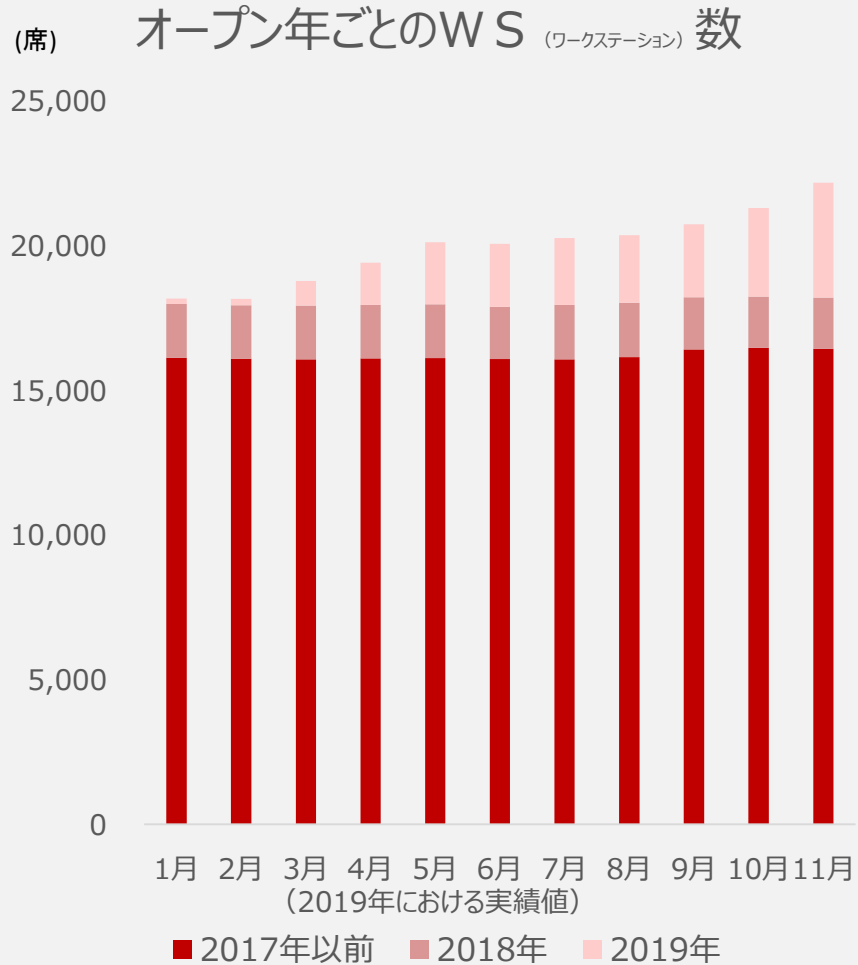
日本リージャスのビジネスモデル

日本リージャスは平均してオープンから約8～12カ月で損益分岐点（稼働率45%）に達し、約18カ月で巡航速度（稼働率65%）に乗る。貸会議室と比較すると回収開始までの期間は長いが、その後も10年以上の長期にわたり安定稼働が続き、高収益が継続して見込めるサブリースのストックビジネスである

オープンしてからの稼働率と利益率のイメージ



リージャスの重要視するKPIは稼働率である。
全体の大部分を占める2017年12月以前に出店した拠点は高稼働を維持している



成長戦略・中期経営計画

新成長戦略

- ① TKPと日本リージャスとのリソース融合による、共同での物件開発・商品販売・拠点運営の推進
- ② 日本最大のフレキシブルオフィス提供者として「働き方改革」を推進し、BtoBを中心とするサービス展開の拡大および顧客満足度・リピート率の向上
- ③ フレキシブルオフィスと関連する新規事業分野の開発・M&Aの促進
- ④ 貸会議室とレンタルオフィス・コワーキングスペースや宿泊施設等を組み合わせ、アジアを入口に世界へTKPネットワークの急拡大

新中期経営計画（2020年2月期-2022年2月期）

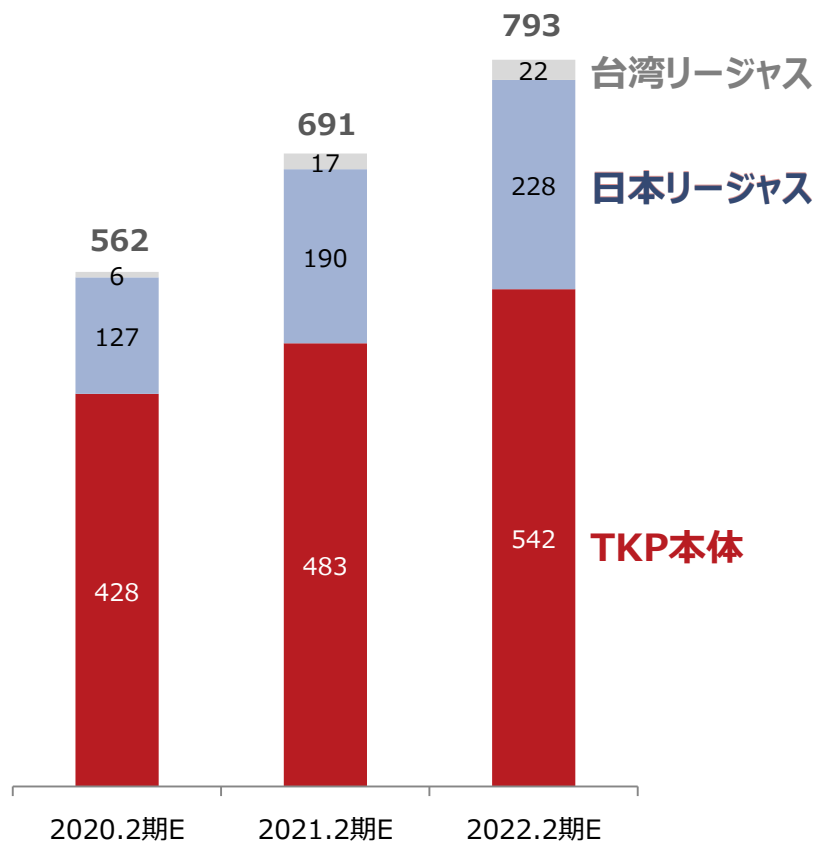
国際間で企業価値を評価しやすい**EBITDA**を最重要指標として、
2022年2月期には売上高比**23%**を目指す

	2020年2月期 (計画)	2021年2月期 (計画)	2022年2月期 (計画)
(億円)			
売上高	562.06	691.50	793.26
EBITDA	112.28 (20.0%)	149.96 (21.7%)	183.13 (23.1%)
営業利益	76.07 (13.5%)	96.17 (13.9%)	124.71 (15.7%)
経常利益	59.13 (10.5%)	90.38 (13.1%)	119.18 (15.0%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	28.63 (5.1%)	44.56 (6.4%)	64.06 (8.1%)

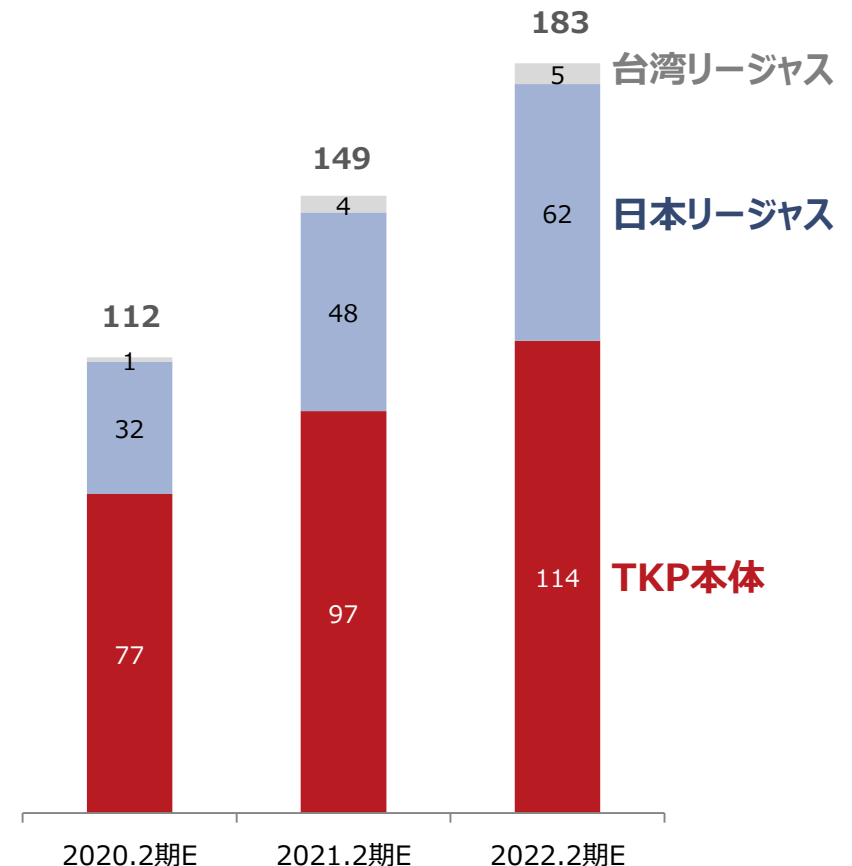
新中期経営計画策定の背景

新中期経営計画は、TKP本体の成長および日本リージャス・台湾リージャスを連結子会社化したことによる影響を加味して策定したもの

売上高 (単位：億円)

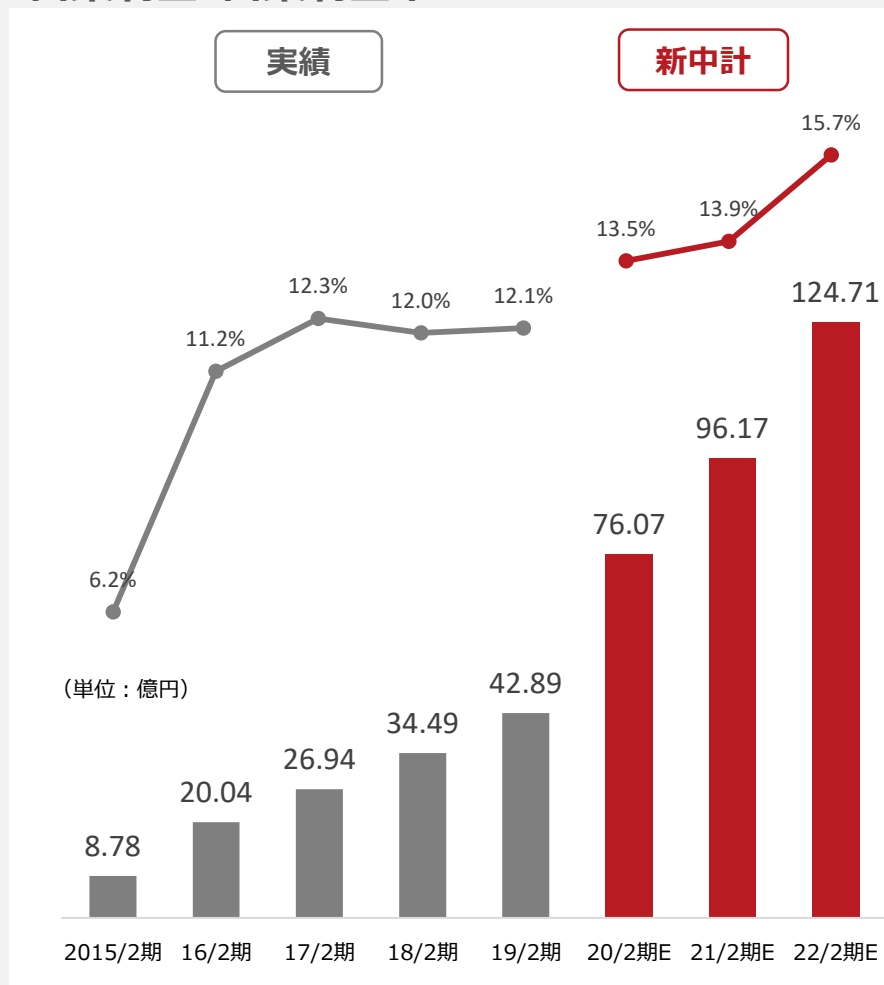


EBITDA (単位：億円)

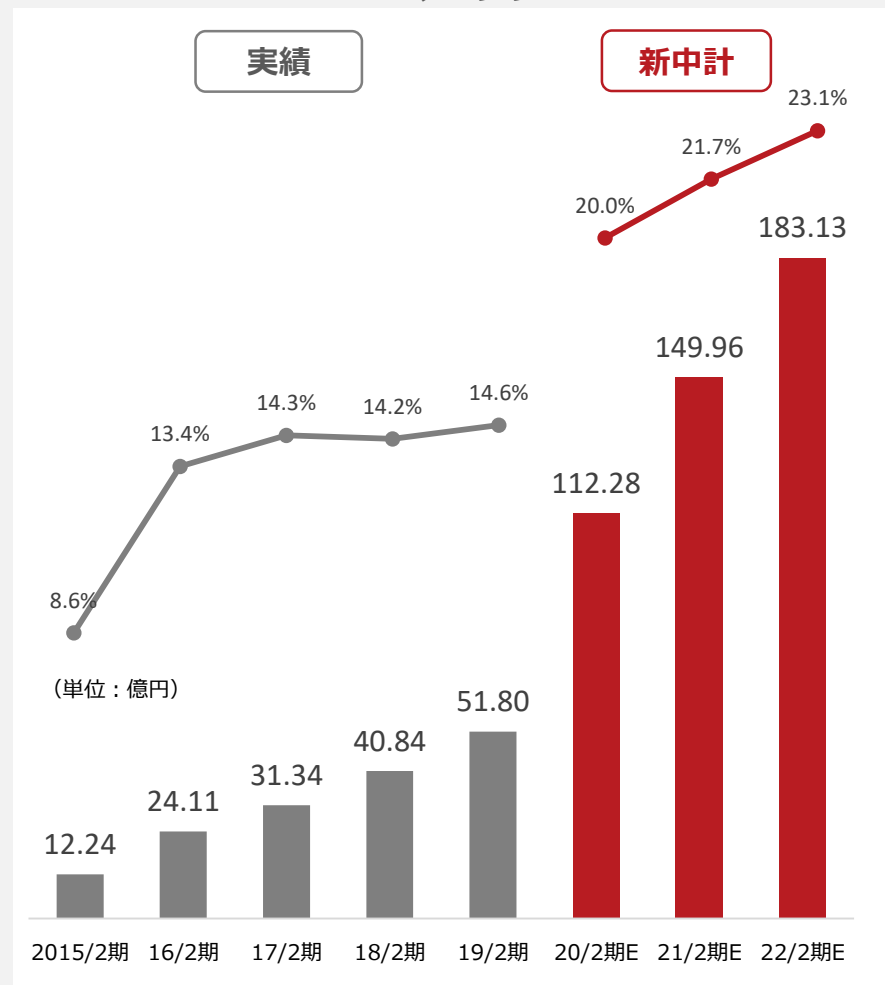


2022年2月期に営業利益率15%超、EBITDAマージン23%超を見込む

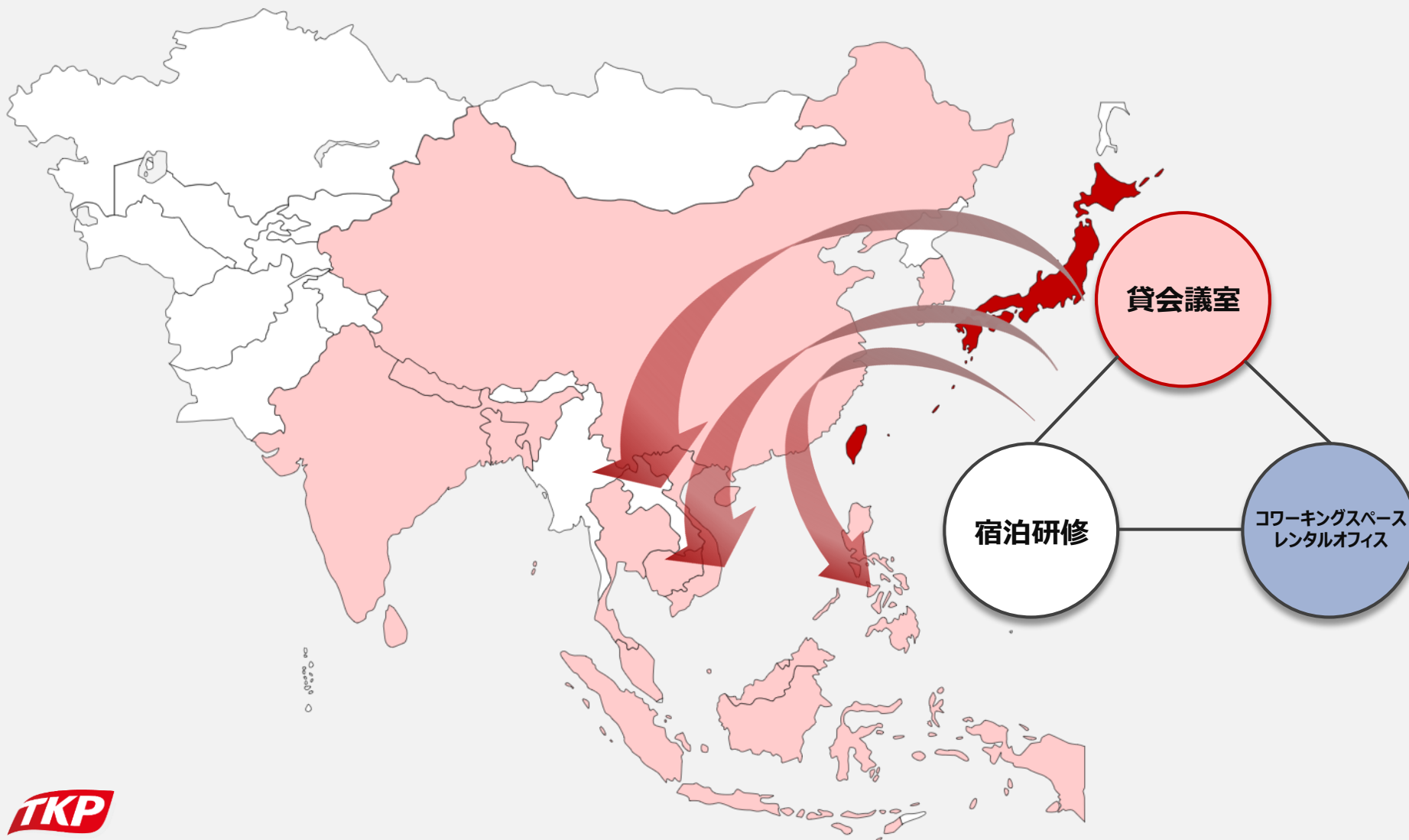
営業利益・営業利益率



EBITDA・EBITDAマージン



**貸会議室・レンタルオフィス・コワーキングスペース・宿泊研修を
組み合わせ日本のビジネスモデルを海外へ**



TKPは国内フレキシブルオフィスNo.1から**世界のフレキシブルオフィスブランド**へ



アジアの次は**世界へ**

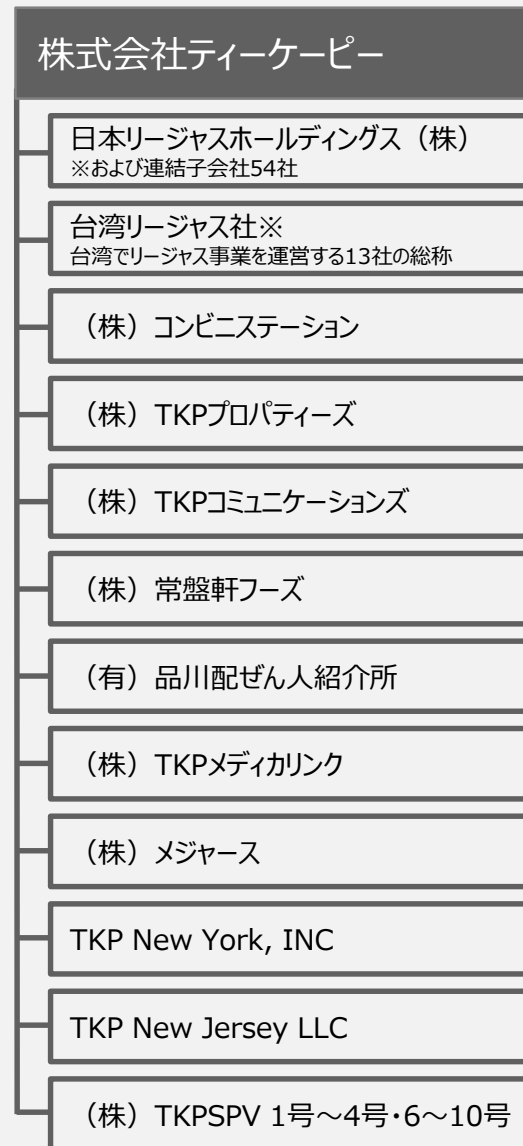
Anytime, **A**nywhere for **A**ll workers

いつでも、どこでも、すべての働く人たちに。

Appendix

会社概要 (2019年11月末時点)

社名	株式会社ティーケーピー																		
本社	東京都新宿区市谷八幡町8番地TKP市ヶ谷ビル2F																		
設立	2005年8月15日																		
代表取締役	河野 貴輝																		
資本金	120億円 (2019年11月末現在)																		
上場日	2017年3月27日 東証マザーズ上場 (3479)																		
従業員数	1,727名 (2019年11月末現在) ※パートタイマー等臨時雇用者を除く																		
事業内容	フレキシブルオフィス事業 料飲・バンケット事業 ホテル&リゾート事業 イベントプロデュース事業 BPO事業																		
役員	<table border="0"> <tr> <td>代表取締役社長</td> <td>河野 貴輝</td> </tr> <tr> <td>取締役COO</td> <td>中村 幸司</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>西岡 真吾</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>辻 晴雄</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>渡邊 康平</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>Mark Dixon</td> </tr> <tr> <td>常勤監査役</td> <td>曾我部 義矩</td> </tr> <tr> <td>監査役</td> <td>重 隆憲</td> </tr> <tr> <td>監査役</td> <td>早川 貴之</td> </tr> </table>	代表取締役社長	河野 貴輝	取締役COO	中村 幸司	取締役	西岡 真吾	取締役	辻 晴雄	取締役	渡邊 康平	取締役	Mark Dixon	常勤監査役	曾我部 義矩	監査役	重 隆憲	監査役	早川 貴之
代表取締役社長	河野 貴輝																		
取締役COO	中村 幸司																		
取締役	西岡 真吾																		
取締役	辻 晴雄																		
取締役	渡邊 康平																		
取締役	Mark Dixon																		
常勤監査役	曾我部 義矩																		
監査役	重 隆憲																		
監査役	早川 貴之																		



会社沿革

2005	第1号店「TKP六本木会議室」オープン 港区浜松町に「株式会社ティーケーピー」設立
2006	北海道・関西・九州初出店 / 月間売上高1億円突破
2007	東北・東海に初出店
2008	第二種旅行業登録 「株式会社TKPコミュニケーションズ」(連結子会社)設立
2009	「株式会社TKPプロパティーズ」(連結子会社) 設立
2010	現「株式会社TKPコミュニケーションズ」(連結子会社)設立 「TKP New York, Inc.」(連結子会社)設立 中国地方に初出店
2011	「TKPガーデンシティ品川」(ホテル内宴会場) オープン
2012	直営会議室数1,000室突破
2013	株式会社 常盤軒フーズ」(連結子会社)設立 一般社団法人日本経済団体連合会 入会 米国ニューヨークに初出店
2014	第一種旅行業登録 札幌に「アパホテル(TKP札幌駅前)」オープン
2015	伊豆長岡に温泉宿「石のや」オープン
2016	「ファーストキャビン」と業務提携 簡易宿泊事業参入

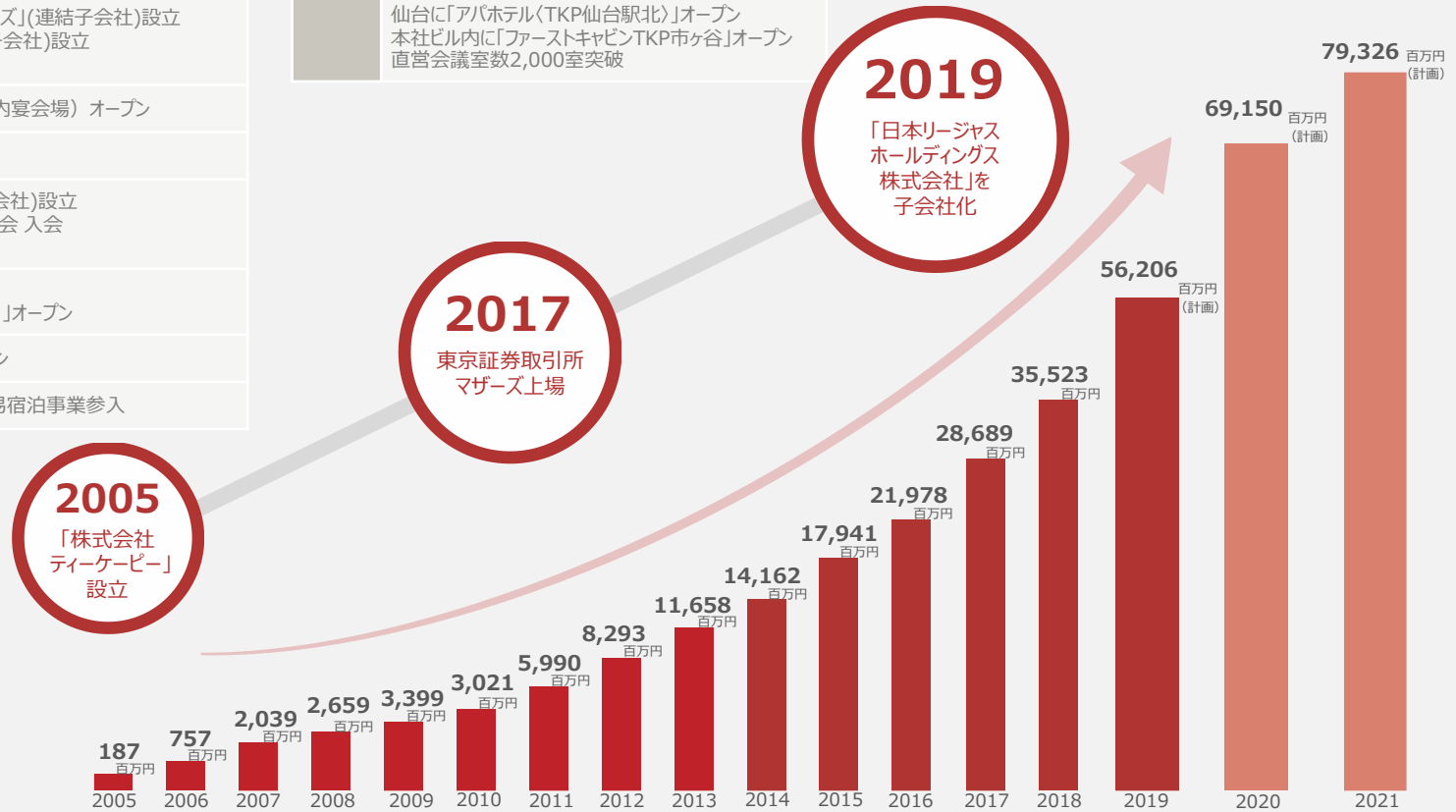
2017	東京証券取引所マザーズに上場 港区に「アジュール竹芝」オープン スペースマッチングサービス「クラウドスペース」提供開始 名古屋に「ファーストキャビンTKP名古屋駅」初出店 「株式会社メジャーズ」子会社化 広島に貸会議室×コワーキングスペースの融合施設 「TKPガーデンシティ広島駅前大橋」オープン
2018	新宿に大規模・多目的イベントホール「CIRQ (シルク) 新宿」オープン 葉山に大型リゾートセミナーホテル「レクトーレ葉山 湘南国際村」オープン 仙台に「アパホテル(TKP仙台駅北)」オープン 本社ビル内に「ファーストキャビンTKP市ヶ谷」オープン 直営会議室数2,000室突破

2019	「日本リージャスホールディングス株式会社」を子会社化 博多に宿泊施設「レクトーレ博多 久山温泉」オープン 大阪に「アパホテル(大阪梅田)」オープン 「有限会社品川配せん人紹介所」を子会社化 「台湾リージャス社」を子会社化
------	--

0 から 1 を 創り 出す
空間再生流通企業



Total Kūkan Produce
トータル 空間 プロデュース



料飲・バンケット事業

パーティー・懇親会

TKP パーティー・懇親会ネット



直営レストラン・カフェ

全国に26店舗を展開

札幌 日本料理 絆

名古屋 日本料理 伊勢



弁当製造手配

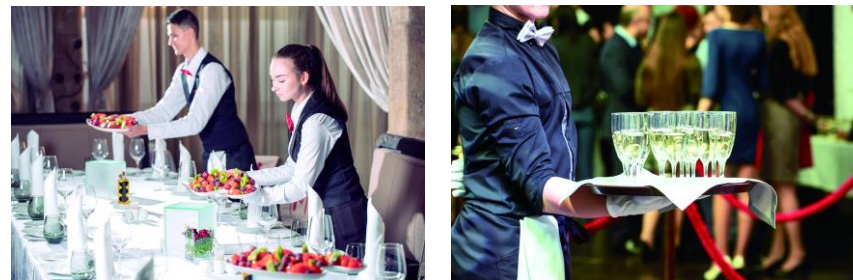
株式会社常盤軒フーズ

常盤軒



配ぜん人材紹介

有限会社
品川配ぜん人紹介所



イベントプロデュース事業・BPO事業

イベントプロデュース事業

イベントプロデュース

MAJORS



総合レンタル

TKP レンタルネット



BPO事業

コールセンター

TKP TKP コミュニケーションズ



同時通訳システム

同時通訳ブース・機材



技術サポート
通訳者手配



学会運営サポート

TKP Medicalink



事務局代行

TKP TKP コミュニケーションズ

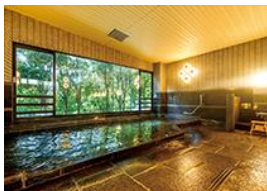


直営施設

宿泊研修施設

L e c T o r e
レクターレ

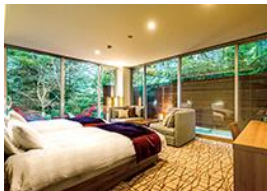
レクターレ熱海小嵐



レクターレ熱海桃山



レクターレ箱根強羅



レクターレ軽井沢



レクターレ湯河原



レクターレ
葉山湘南国際村



レクターレ高松空港



レクターレ八ヶ岳



レクターレとやま自遊館



レクターレ
博多久山温泉



温泉宿

伊豆長岡温泉
Villa Garden
石のや
ISHINOYA

石のや



シティホテル

BAYSIDE HOTEL
AZUR
takeshiba

アジュール竹芝



フランチャイズ施設

新都市型ホテル



<p>アパホテル 〈TKP日暮里駅前〉</p> 	<p>アパホテル 〈TKP東京西葛西〉</p> 	<p>アパホテル 〈TKP札幌駅前〉</p> 	<p>アパホテル 〈TKP札幌駅北口〉 EXCELLENT</p> 
<p>アパホテル 〈TKP京急川崎駅前〉</p> 	<p>アパホテル 〈TKP仙台駅北〉</p> 	<p>アパホテル 〈大阪梅田〉</p> 	<p>※アパホテル 〈上野広小路〉</p> 
<p>※アパホテル 〈博多東比恵駅前〉</p> 	<p>※アパホテル 〈福岡天神西〉</p> 	<p>※仮名称</p>	

コンパクトホテル




ファーストキャビンTKP名古屋駅前



ファーストキャビンTKP市ヶ谷



当社が運営する宿泊研修施設の形態

宿泊施設	客室数	オープン	建物	土地
アパホテル〈TKP札幌駅前〉	203	2014年8月	賃借	—
アパホテル〈TKP札幌駅北口〉EXCELLENT	108	2016年8月	賃借	—
アパホテル〈TKP日暮里駅前〉	278	2016年12月	所有	所有
アパホテル〈TKP東京西葛西〉	124	2017年12月	賃借	—
アパホテル〈TKP京急川崎駅前〉	143	2018年6月	所有	賃借
アパホテル〈TKP仙台駅北〉	306	2018年10月	所有	所有
アパホテル〈大阪梅田〉	162	2019年5月	所有	賃借
アパホテル〈博多東比恵駅前〉	206	(予定) 2020年2月	所有	所有
アパホテル〈福岡天神西〉	268	(予定) 2020年5月	所有	所有
アパホテル〈上野広小路〉	215	(予定) 2020年6月	所有	所有
レクターレ熱海小嵐	20	2013年11月	賃借	—
レクターレ箱根強羅	23	2014年1月	賃借	—
レクターレ軽井沢	14	2014年7月	賃借	—
レクターレ熱海桃山	31	2014年7月	賃借	—
アジュール竹芝 (運営受託)	122	2017年4月	—	—
レクターレ湯河原	108	2017年5月	所有	所有
レクターレ葉山湘南国際村	160	2018年4月	所有	所有
レクターレ高松空港 (宴会場賃借/業務提携)	124	2018年6月	—	—
レクターレ八ヶ岳 (運営委託)	32	2018年11月	—	—
レクターレとやま自遊館 (運営委託)	40	2018年3月	—	—
レクターレ博多久山温泉	44	2019年6月	所有	所有
石のや	22	2015年1月	賃借	—
ファーストキャビンTKP名古屋駅	199	2017年9月	所有	所有
ファーストキャビンTKP市ヶ谷	165	2018年11月	賃借	—

当社グループの多様な集客方法

貸会議室ネット



オーナー様の施設を「TKP貸会議室ネット」に掲載することで幅広く集客できます
で幅広く集客できます



TKPパーティ・懇親会ネット



Facebook



リージャスブログ

IT技術を用いた
自社運営の
予約システム

全国であらゆる
メディア媒体を網羅
圧倒的な広告力

国内406施設
全国主要都市に広がる
営業
ネットワーク

2019年10月末時点

94,900社に及ぶ
TKP
利用企業

2019年2月末時点

国内外250万人の
Regus会員



ティーケーピーHP



リージャスHP



雑誌広告



リージャスアプリ



駅広告

IWGはレンタルオフィス・コワーキングスペース事業において世界で圧倒的な規模を誇る



世界的ネットワーク		多様な展開ブランド		好調なグループ業績			
都市 1,100超	国・地域 110超	Regus	Signature by Regus	SPACES	売上高 £ 2,535百万 (約3,320億円)	EBITDA £ 389百万 (約504億円)	営業利益 £ 154百万 (約201億円)
拠点数 3,300超	会員数 250万人	Openoffice	HQ	No18			

※業績は2018年12月期

本資料は、当社グループをより深く理解していただくためのものであり、本資料に記載されたいかなる情報も、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。また、これらに関する投資アドバイス目的で作成されたものでもありません。

本資料に記載されている業績見通し等は、いずれも当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは市場環境や事業の進展などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績等は、本資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。